

# 山・水・樹々・命の話をいたしましょう 斎藤栄作美さんと歩く「山笑う」季節の世界自然遺産 白神山地 雪解け間もないブナ林・湿原の花々・新緑のニッ森登山



斎藤栄作美さん



白神のブナの森

雪解けが進み、樹々が長い眠りから覚め、北国にも遅い春がやってきています。白神山地は世界最大級の原生的なブナ林が姿を残し、多様な生態系を有する地域です。ブナ天然林では降雨が枝葉や根幹を伝わって大地に吸収され、動植物を育みながら谷川に滲出し大海に達し、豊かな恵みを与えます。この地に生まれ育った斎藤さんは山に入り続け、日々の山の声を聞くことが出来る人です。白神山地の命のつながりや人間とのかかわりについて説明を聞きながら、森・林・水をつなぐ道を歩き、山を登ります。



新緑のブナ

## 1日目 ●七座山

蛇行する米代川のほとりにそびえる、七つの峰を持つ連山。藩政時代から伐採が禁じられており、原始の状態が保たれており、天然秋田杉と様々な広葉樹が覆い、野生の森の中を山の植生、暮らしとの関りの話を聞きながら登ります。

【標高287m 起伏ある道をお弁当の昼食をはさみ、約3時間登山】

## ●峨瓈の滝／跳子の滝

男性的な峨瓈の滝と、細く流れ落ちる女性的な跳子の滝を見比べます。

## 2日目 ●岳岱自然教育林

世界自然遺産の核心地域に限りなく近く生態系を維持しているネイチャーフィールド。樹齢400年を超えるブナ、モリアオガエルが生息する池などみどころが豊富。「天然の水瓶」ともよばれるブナについて深く知ることが出来ます。

【1.8kmの整備された軽い起伏のあるウッドチップ・木道を約60分～90分散策】

## ●田苗代湿原

白神山地の藤里駒ヶ岳直下に広がる田苗代湿原は、標高978mの位置にあり、整備された木道の周辺にミズバショウ・ザゼンソウなど高山植物・湿原植物が植生しています。

【所々、起伏のある木道を約60分散策】



蛇行する米代川のほとりに立つ七座山



田苗代湿原

## 3日目 ●ニツ森登山

白神世界自然遺産地域に入り山頂からは白神の山々が展望できます。世界遺産核心地域のブナの森を一望できるのもニツ森登山の醍醐味の一つです。

【標高1,086m高低差100m登山口から山頂まで2km。上り下りのある登山道を、登り90分・下り90分をかけてゆっくりと登山。中腹から登りがきくなり、天候によっては足元が悪くなります】



ニツ森山頂からの景色

旅行期間	2020年5月29日(金)～5月31日(日)	
旅行代金	2名様1室利用 (お一人様)	123,000円 募集人員 (最少催行人員14名様)
宿泊ホテル	1泊目: ホテルゆとりあ藤里 ※1泊目のホテルには場所柄、全室に内風呂はございません。 2泊目: あきた白神温泉ホテル ※2泊目のホテルには場所柄、全室に内風呂はございません。 ホテル内の温泉をご利用ください	

1	8:55羽田発 → 10:05大館能代空港着 専用バスにて移動 → 11:00～14:00七座山 登山 → お弁当の昼食 → 峨瓈の滝・跳子の滝・藤里町散策 → バス移動 → 17:00ホテル着 → オタ食後斎藤さんによるスライドショー 食事: 朝×・昼○(お弁当)・夕○【ホテルゆとりあ藤里(泊)】
2	ホテル出発 → バス移動 → 岳岱自然教育林 → 山のお弁当の昼食 → 田苗代湿原・跳子の滝見学 → 15:00バス移動 → 17:00ホテル着 食事: 朝○・昼○(お弁当)・夕○【あきた白神温泉ホテル(泊)】
3	8:00ホテル出発 → バス移動 → 9:30～13:00ニツ森登山 → 地元の方が作る昼食 → 18:05大館能代空港発 → 19:20羽田空港着 食事: 朝○・昼○・夕×

※全ての行程においてトレッキングシューズか登山靴・リュック・軍手・帽子・セパレートタイプのカッパなどの基本的な登山用具、雨天時の装備が必要です。

※お花に関しては例年この時期に見られる花の案内となっています。

※天候、道路のコンディションなどやむを得ない事情によってはルートの変更または中止させていただくことがあります。

添乗員／同行します(1日目羽田空港から3日目羽田空港まで)

食事／朝食2回 昼食3回(お弁当含む) 夕食2回

交通機関／航空機(ANA)・貸切バス(予定運行会社)・つばさ観光バス 同等)